

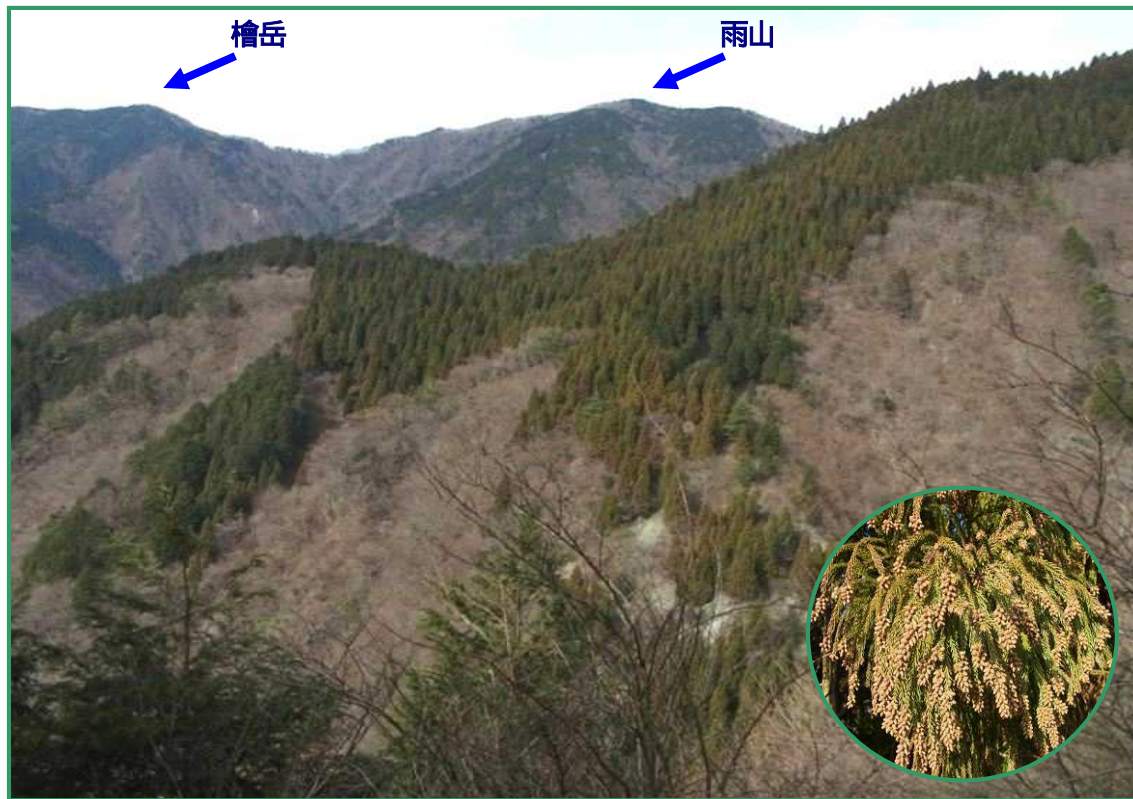
やどりき水源林ニュース

発行(財) かながわトラストみどり財団 編集 NPO 法人かながわ森林インストラクターの会
 220-0073 横浜市西区岡野2-12-20 神奈川県横浜西合同庁舎内
 045-412-2255 URL: <http://www.ktm.or.jp> E-mail: midori@ktm.or.jp

定例観察会のお知らせ(費用等負担はありません)

毎週土曜・日曜の午前10時と午後1時から「NPO 法人かながわ森林インストラクターの会」会員が水源林をご案内します。やどりき水源林ゲート前までお越しください。なお、冬季(12月・1月・2月)は安全確保のため休止します。

春を待つ山々。花粉対策をしっかりね!



冬の水源林はちょっとさびしい感じがします。でも、冬の風景にもすばらしい造形や自然の力強さが感じられます。
 お日様の暖かい日を選んで出かけてみてはいかがでしょうか?でも、今年はニュースでご存知のように花粉がすごそうです。花粉対策をしっかりと出かけ下さい。

*写真は、ボランティア林の作業道から望んだ風景です。杉林が少し赤褐色なのは、雄花の色です。



*地面は霜が降りてキラキラです



*小さな滝は凍っています



*凍っていない滝では氷柱の彫刻

冬は野鳥がを見つけやすい。さあ！探してみましょ。



*カワガラス・寄バス停付近の堰堤で *モズ・寄バス停から少し歩いた所 *カケス・作業道にて

木々が落葉している今の季節は野鳥を見つけやすい時期でもあります。双眼鏡を用意して出かけて見ましょ。

野生の痕跡を
探して

やどりき水源林では、シカやイノシシは、おなじみの野生動物です。でも、それ以外にも、ニホンカモシカ、ムササビ、モモンガ、テン、タヌキ、アナグマなど多くの野生動物の痕跡が見つかります。

今回は、やどりき水源林の中のボランティア林にいたる作業道を歩きながら、ツキノワグマの痕跡を探してみました。



左の写真は作業道の尾根に近いところから見下ろしたヒノキ林です。どうですか？急な勾配が続く地形にヒノキが美しく並んでいます。



実際に立ってみるとよくわかりますが、二本足で移動する私たち人間にとっては少々危険を感じるほどの勾配ですが、四本足で大地に立つツキノワグマには何の問題も無いのか右の写真のように2mほどの高さまで、バリバリに樹皮がはがされています。

ツキノワグマは、雑食性で秋には多くの木の実を食べるそうです。このようなヒノキの樹皮がはがされているのは樹皮の下にある形成層と呼ばれる部分を食べるために、はがしたものです。

クマたちにとって、どうやらこの形成層は、おいしいようです。こうした現象はクマ剥ぎと呼ばれ多数見られます。



さて右の写真をご覧ください。尾根近くの日当たりの良い場所の切り株で見つけたのは、エビフライ！？いえいえ、これはリスの食痕です。ここで弁当を食べたんですね。かわいいですね。元は、マツボックリです。



2月のトピックス

2月5日から3月6日まで、松田町にて「まつだ桜まつり」を開催しています。寄バス停周辺から水源林までさまざまな種類の桜が楽しめますが、まずは、河津桜から、お楽しみください。写真は、1月16日撮影の河津桜のつぼみです。



3月の水源林

お休みだった、森の案内人が3月から再開します。山は春に向けて徐々に、にぎやかになります。ハイキングに、お散歩にお天気の良い日はやどりき水源林にお出かけください。森の案内人のガイドは、午前10時と午後1時、やどりき水源林入り口のゲート前に集合です。